

NO. 8263

23年12月15日

中通病院
8833-7937

用云未云／

第68回日本母親大会・山口

大軍拡・憲法改悪NO! 憲法を生かし

ジェンダー平等社会の実現を!

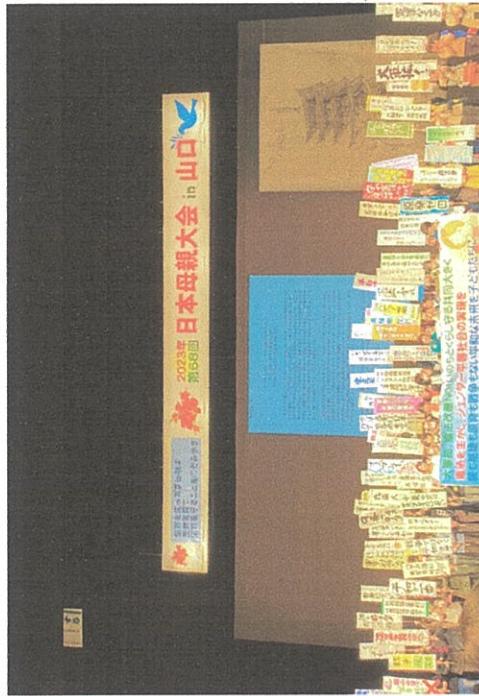
核も基地も原発もない平和な未来を子どもたちに

「戦争ではなく平和を」「ジェンダー平等を」と行動する女性たちが集う第68回日本母親大会・山口が11月25日～26日山口市のKDDI維新ホールで開催された。12,000人（オンライン含む）が参加しました。組合女性部から、澤木裕美さんが参加しました。感想文を紹介します。

中通総合病院訓練分会
理学療法士

澤木裕美

第68回日本母親大会に参加してきました。この日、秋田では初雪が観測されました。山口は心地のよい晴れ、日中はまだ暖かく、着用は要らず、紅葉の観るる時期でした。秋田県からは、他団体の1名を含めて2名



生きる活力、問題意識を持ち運動に取り組む行動力の重要性など、実際に肌で感じることができる、深く考える機会となりました。

る尊厳がおびやかされないに社会をめざして」をテーマに、平和的生存権は憲法24条と9条を基盤としたトライアングル理論として考えること等を学びました。清末先生は山口県周南市出身で、憲法学・家族法・ジエンダー法学・アフガニスタンにおけるジエンダーに基づく暴力を専門にされてお

「秋吉台を守る」と運動が始まり、米軍が申し入れを撤回したという歴史

があります。現地をガイドして下さつた方は、「あの時、反対運動を行っていなかつたら、今、イギリスアショアの配備計画はここだつただろう、あの時、みんなで声を上げて本当に良かったと思う」と説明がありました。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻、イスラム組織ハマスによるイスラエル攻撃、イスラエル軍によるパレスチナのガザ地区での軍事作戦、ニュースにならずとも、毎日のように、世界のどこかで、尊い生命が奪われています。今こそ、母親大会の掲げるスローガンは大きな意味を持ちます。わたしたちは、世界情勢や社会問題、それぞれの身近な問題に常に关心を持ち、深く考え、不正義に声を上げ、行動を起こし、よりよ

り、これまで23年間ペレスチナでの非暴力の抵抗運動等にも関わってきた方です。毎年のようにガザ地区を訪れ、難民キャンプで子供たちに出張アトリエ(絵画教室)を開催されているそうです。清末先生が、「生きる」とは、「希望」と「尊厳」がともに備わっていること、そして「自由」であるということ」や「自由の価値」をガザやアフガニスタンの人々によつて教えられたと仰つていたのが印象的でした。



東北労金秋田支店からのお知らせ

2024年1月から始まる「新NISA」の資料を全組合員に配布しました。説明、申込み等について、いつもでも労金が対応する事になっています。予約が必要ですので、組合（内線813番）までご連絡お願ひします。また、「iDeCo」「投資信託」「各種ローン」等の説明会も受付ます。

「家庭常備薬」注文した組合員の皆さんへ
注文した薬のお渡しは、12月26日以降となります。お問合せは組合（内線813番）までお願いします。